

事業年度末日：3月31日

定時株主総会：6月中

剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

株主名簿管理人：東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所：郵便番号168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

郵便物送付先  
電話ご照会先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話0120-78-2031（フリーダイヤル）

同 取 次 所：中央三井信託銀行株式会社 全国各支店

日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

公 告 掲 載 新 聞：日本経済新聞

当社は、日本経済新聞に掲載していました決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。

(<http://www.alsok.co.jp/ir/kessan.html>)

お問い合わせ先

株式事務に関するお問い合わせ

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

TEL：0120-78-2031（フリーダイヤル）

総合警備保障株式会社 総務部総務課

TEL：03-5410-4428

E-mail：soumu@alsok.co.jp

事業内容に関するお問い合わせ

総合警備保障株式会社 IR室

TEL：03-3423-2331

FAX：03-3470-1565

E-mail：alsok-ir@alsok.co.jp



総合警備保障株式会社

ALSOKホームページ <http://www.alsok.co.jp/>



環境に優しい植物性  
大豆インキを使用し  
ております。



古紙配合率100%  
再生紙を使用し  
ております。



## 第42期報告書

2006年4月1日～2007年3月31日



総合警備保障株式会社

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、近年、わが国は、統計上の治安動向の改善が見られたものの、一方で、児童などの弱者を狙った凶悪な事件が相次ぎ、安全への不安はまだ根強く残っております。また、企業活動においても情報漏えい事件が多発するなど、警備のニーズは社会のあらゆる分野に広がっております。

このような環境の中で、当社グループは、当期、業績のV字回復を確実なものとするための重要な年として、より一層、営業力の強化や合理化・効率化策を実施してまいりました。

その結果、機械警備・常駐警備・警備輸送のすべての部門において、売上を伸ばすことができました。

利益面につきましても、売上増加に加え、警備運用の効率化や資材調達先の拡大など経営全般にわたるコスト削減を図り、収益基盤の強化に努めてきた結果、大幅に伸ばすことができました。

このように業績が順調に推移したことから、期末配当金を11円50銭とし、年間配当金を、従来の17円から20円と増配することといたしました。

今後とも、当社グループは、株主様に対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、内部留保の充実を図りながら業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針とし、営業力の強化、警備運用の品質向上と効率化、グループ連携の強化、新商品・サービスの提供、社員の士気の高揚などを従来以上に強力に推進して、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2007年6月

代表取締役社長 **村井 温**

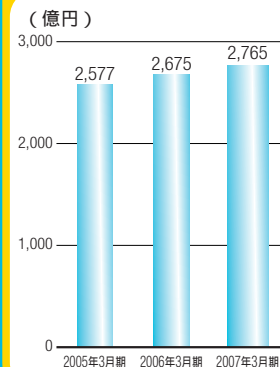


積極的な営業展開と経営全般にわたるコスト改善を図り、増収増益を達成することができました。

### 売上高

2,765億60百万円

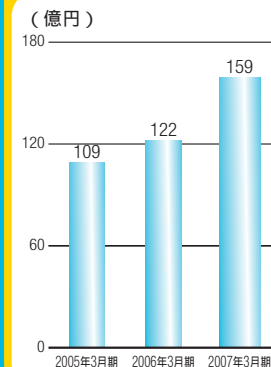
(前期比3.4%増加)



### 営業利益

159億72百万円

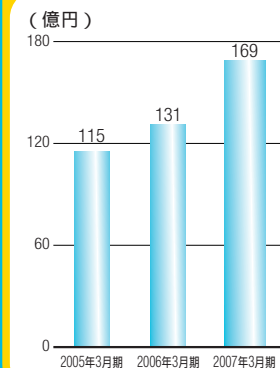
(前期比30.4%増加)



### 経常利益

169億17百万円

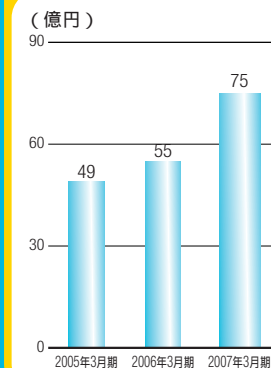
(前期比29.1%増加)

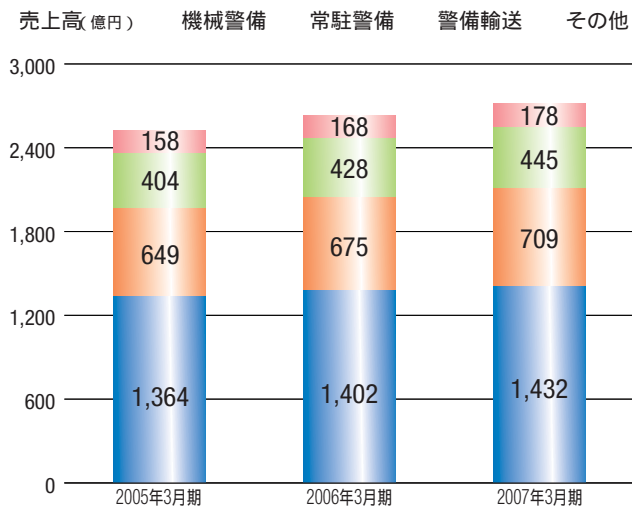


### 当期純利益

75億58百万円

(前期比36.2%増加)





### 機械警備業務

法人向け、個人向けの新規契約が増加しました。さらに、銀行のATM盗撮カメラの防犯システムや、法人向けの出入管理装置の売却などもあり、前期比+2.2%の1,432億円(30億円の増加)となりました。

### 常駐警備業務

ATM盗撮カメラ対応に伴う臨時警備、大型ショッピング施設等の大型物件の受注により、前期比+4.9%の709億円(33億円の増加)となりました。

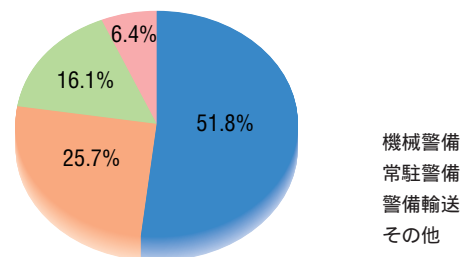
### 警備輸送業務

入金機オンラインシステムとATM総合管理業務の受注増加により、前期比+3.8%の445億円(16億円の増加)となりました。

### その他の業務

現場急行サービスと多機能型ATM(MMK)の受注増加、さらにAED(自動体外式除細動器)の販売が好調で、前期比+6.0%の178億(10億円の増加)となりました。

連結売上高業務別構成比



機械警備業務の売上が51.8%を占め、常駐警備業務が25.7%、警備輸送業務が16.1%、その他の業務が6.4%となっております。

### 今後の取り組み

主力である機械警備業務の営業力の強化として、法人向けは、主に、東名阪における大手優良企業や全国展開企業への取り組みを強化していきます。

個人向けは、主に、テレビCMの増強、携帯電話向けサイトの実施等広告宣伝を充実・強化していきます。

### CM

#### ALSOKの新CM 「ピンチにはやい」篇が 4月からオンエア。

2006年から「そのスピードがALSOK品質」のキャッチコピーで、ALSOKの対応の速さをPRしてきましたが、今回は「ピンチにはやいALSOK」を井上選手とALSOKのガードマン達とがコミカルに表現しています。



## 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

区分	第41期	第42期
	2006/3/31	2007/3/31
流動資産	147,808	153,237
固定資産	135,020	131,981
資産合計	282,829	285,219
流動負債	79,913	81,291
固定負債	57,077	52,111
負債合計	136,990	133,402
少数株主持分	16,645	
（資本の部）		
資本金	17,830	
資本剰余金	31,811	
利益剰余金	79,642	
土地再評価差額金	4,976	
その他有価証券評価差額金	4,911	
自己株式	27	
資本合計	129,193	
負債、少数株主持分及び資本合計	282,829	
（純資産の部）		
株主資本		135,835
資本金		18,536
資本剰余金		32,047
利益剰余金		85,258
自己株式		6
評価・換算差額等		1,060
その他有価証券評価差額金		4,335
土地再評価差額金		5,395
少数株主持分		17,040
純資産合計		151,816
負債純資産合計		285,219

## 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

区分	第41期	第42期
	2005/4/1 - 2006/3/31	2006/4/1 - 2007/3/31
売上高	267,545	276,560
売上原価	199,144	203,080
販売費及び一般管理費	56,154	57,507
営業利益	12,246	15,972
営業外損益	857	945
経常利益	13,102	16,917
特別損益	899	677
税金等調整前当期純利益	12,203	16,241
法人税、住民税及び事業税	4,291	5,106
法人税等調整額	1,275	2,716
少数株主利益	1,085	859
当期純利益	5,550	7,558

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

区分	第41期	第42期
	2005/4/1 - 2006/3/31	2006/4/1 - 2007/3/31
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,106	16,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,897	8,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,351	5,387
現金及び現金同等物の増加額	5,857	2,369
現金及び現金同等物の期首残高	44,364	50,221
現金及び現金同等物の期末残高	50,221	52,591

## 連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

（2006年4月1日～2007年3月31日）

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
2006年3月31日残高	17,830	31,811	79,642	27	129,258
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	705	232			938
剰余金の配当			862		862
剰余金の配当（注）			859		859
役員賞与（注）			220		220
当期純利益			7,558		7,558
自己株式の取得				1	1
自己株式の処分		4		22	26
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	705	236	5,615	20	6,577
2007年3月31日残高	18,536	32,047	85,258	6	135,835

（単位：百万円）

（2006年4月1日～2007年3月31日）

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計			
2006年3月31日残高	4,911	4,976	64	16,645	145,839	
連結会計年度中の変動額						
新株の発行					938	
剰余金の配当					862	
剰余金の配当（注）					859	
役員賞与（注）					220	
当期純利益					7,558	
自己株式の取得					1	
自己株式の処分					26	
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）	576	418	995	394	600	
連結会計年度中の変動額合計	576	418	995	394	5,977	
2007年3月31日残高	4,335	5,395	1,060	17,040	151,816	

（注）2006年6月の定時株式総会における利益処分項目であります。

## 貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

区分	第41期	第42期
	2006/3/31	2007/3/31
流動資産	105,458	108,725
固定資産	94,628	90,047
<b>資産合計</b>	<b>200,087</b>	<b>198,772</b>
流動負債	64,923	66,363
固定負債	41,670	35,747
<b>負債合計</b>	<b>106,593</b>	<b>102,110</b>
（資本の部）		
資本金	17,830	
資本剰余金	29,017	
利益剰余金	47,223	
土地再評価差額金	4,976	
その他有価証券評価差額金	4,403	
自己株式	4	
<b>資本合計</b>	<b>93,493</b>	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>200,087</b>	
（純資産の部）		
株主資本		98,048
資本金		18,536
資本剰余金		29,250
利益剰余金		50,268
自己株式		6
評価・換算差額等		1,385
その他有価証券評価差額金		4,009
土地再評価差額金		5,395
<b>純資産合計</b>		<b>96,662</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>198,772</b>

## 損益計算書（要約）

（単位：百万円）

区分	第41期	第42期
	2005/4/1 - 2006/3/31	2006/4/1 - 2007/3/31
売上高	185,109	192,203
売上原価	142,221	146,346
販売費及び一般管理費	40,298	41,343
営業利益	2,589	4,514
営業外損益	3,042	3,384
経常利益	5,632	7,898
特別損益	707	623
税引前当期純利益	4,924	7,275
法人税、住民税及び事業税	322	561
法人税等調整額	890	1,907
<b>当期純利益</b>	<b>3,712</b>	<b>4,807</b>

## 株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

（2006年4月1日～2007年3月31日）

	株主資本						
	資本剰余金		利益剰余金				
	資本金	資本剰余金	利益準備金	特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	
2006年3月31日残高	17,830	29,017	792	18	14,000	32,412	47,223
事業年度中の変動額							
新株の発行	705	232					
特別償却準備金の取崩（当期分）				8		8	
特別償却準備金の取崩（前期分）注）				8		8	
剰余金の配当						862	862
剰余金の配当（注）						860	860
役員賞与（注）						39	39
当期純利益						4,807	4,807
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）							
事業年度中の変動額合計	705	232		16		3,061	3,044
<b>2007年3月31日残高</b>	<b>18,536</b>	<b>29,250</b>	<b>792</b>	<b>2</b>	<b>14,000</b>	<b>35,473</b>	<b>50,268</b>

（単位：百万円）

（2006年4月1日～2007年3月31日）

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
2006年3月31日残高	4	94,066	4,403	4,976	573	93,493
事業年度中の変動額						
新株の発行		938				938
特別償却準備金の取崩（当期分）						862
特別償却準備金の取崩（前期分）注）						860
剰余金の配当		862				862
剰余金の配当（注）		860				860
役員賞与（注）		39				39
当期純利益		4,807				4,807
自己株式の取得	1	1				1
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）						
事業年度中の変動額合計	1	3,981	393	418	812	3,168
<b>2007年3月31日残高</b>	<b>6</b>	<b>98,048</b>	<b>4,009</b>	<b>5,395</b>	<b>1,385</b>	<b>96,662</b>

（注）2006年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

警備の現場において、お客様の生命、財産の安全を守り通すためには、どのような厳しい状況にも立ち向かう強靱な精神と旺盛な正義感が必要になります。日々危険に立ち向かう警備員の教育を実施している、東京研修所をご紹介します。



### 東京研修所の特徴とは

昨年6月、千葉県印西市に移転しました。8つの教室と宿泊施設のある研修棟と、実技研修ができる訓練棟の2棟で構成されています。研修棟は最大130名を収容できる宿泊施設を持ち、訓練棟は、銀行のATMやマンションの設備、事務所の警備やホームセキュリティ導入のモデルルームを設置しており、実践的な訓練を行うことができます。単に知識の詰め込みだけでなく、実技を交えることにより、興味を持たせ、より効果的に研修に取り組むことのできる施設です。



(写真：訓練棟)

### 新入社員研修

当社は、新入社員に対して警備業法上定められた、しっかりとした研修を行っています。6日間の日程で生活指導、規律訓練、護身術や防災設備を使う実技、救命技能や関連法令を学ぶ学科、その他の5つのジャンルをチーム単位で学びます。

警備業法では最低30時間の新入社員研修を義務付けていますが、当社では40時間以上をかけています。時間内

に体得できない人達は、自由時間にチーム内で教えあい、卒業試験に備えますので、さらに時間をかけていきます。

初日に研修所の規模や指導員の規律正しさに圧倒される研修生も、3日も経つと自発的な姿勢に変わります。自分の身を守るための訓練であるという重要性がわかってくるからではないでしょうか。

なお、今年の新入社員研修は、山中湖において800名を超える研修生が、警備員としての基礎を養う充実した研修を行いました。



### 研修生が学びやすい環境を作る

指導員は研修を効果的に受けられる環境作りを第一に考えています。単に教本どおりに教えるのではなく、先輩社員として自身の体験談を交えて説明するので、研修生の多くが、関心を示し、耳を傾けます。また実技では、指導員が研修生と一緒に汗を流すので、丁寧でわかりやすく、時には白熱した場面も見られます。

研修所は、研修を通じて、いろいろなことを学ばせ、我々の制服に寄せられる大きな期待を認識させるとともに、制服に誇りを持って日々の業務に取り組んでもらえるよう指導しています。

## BOOK

## ALSOKあんしん教室編著 子どもに防犯の心構えを伝授する本

昨年、ALSOKあんしん教室監修の「カルタで覚えるドラえもんあんしん・あんぜん教室」が発売され保護者だけでなく、教育関係者からも高い評価をいただきました。そして、本年2月にはあんしん教室編著の「お父さんは、子どもを守れるか!？」が全国の書店で発売、注目を集めています。

昨今、子育てを奥さまに任せっきりにしてしまうお父さんも多いかもしれませんが、防犯教育については、お父さんに積極的に参加して欲しいもの。そこで、父から子へ伝えて欲しい「危機の回避方法」や「命の大切さ」など愛するわが子を守るためにできること、教えたいたいことをまとめた1冊です。



「お父さんは、子どもを守れるか!？」  
発行：日本文芸出版  
編著：近藤 卓  
ALSOKあんしん教室  
定価：1,365円(税込み)

ALSOKあんしん教室は、「第4回企業フィナンソロビー大賞」において特別賞(地域の子ども安全賞)を受賞いたしました。

## ALSOKトランプをプレゼント!

同封のアンケートにお答えいただいた株主様100名に、ALSOKトランプをプレゼントいたします。アンケートへのご協力をお願いいたします。



応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
プレゼントの当選は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。  
締め切りは7月31日の消印有効で、商品の発送は8月下旬を予定しております。

## 柔道

## ALSOK3選手が 世界柔道選手権大会出場決定。 塚田真希選手、 皇后盃史上最多タイ記録の6連覇!

本年4月に東京武道館で第22回皇后盃全日本女子柔道選手権大会が行われ、塚田真希選手が、皇后盃史上最多タイ記録の6連覇を達成いたしました。

また、中澤さえ選手が全日本選抜体重別選手権大会において3連覇を達成、井上康生選手および駒木奈緒美選手が、全日本柔道選手権大会および全日本女子柔道選手権大会において第3位に入賞いたしました。

これらの実績により、井上選手、塚田選手、中澤選手が、9月にブラジルのリオデジャネイロで行われる世界柔道選手権大会への出場が決定いたしました。



(写真：左から  
塚田真希選手、井上康生選手、中澤さえ選手)

## 女子レスリング

### 女子レスリング クイーンズカップ2007 ALSOK3選手が金メダル獲得。 伊調 馨選手 社会人初大会でMVP獲得!

本年4月に駒沢体育館で女子レスリング クイーンズカップ2007が行われ、当社から3名の選手が出場しました。女子48kg級では伊調千春選手、女子55kg級では吉田沙保里選手、女子63kg級では伊調 馨選手と3選手がそろって金メダルを獲得しました。

また、今年入社した伊調 馨選手は、うまい試合運びで圧倒的な強さを発揮してMVP(最優秀選手賞)を受賞しました。



(写真：伊調 馨選手)

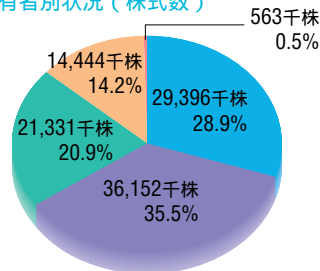
発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	101,889,342株
株主数	9,228名
大株主	

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
村井恒夫*1	9,082,423	8.91
総合商事(株)	7,388,680	7.25
総合警備保障従業員持株会	5,722,730	5.61
埼玉機器(株)	5,283,980	5.18
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口*2	4,261,400	4.18
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,227,100	4.14
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,129,400	4.05
ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	3,585,637	3.51
東京海上日動火災保険(株)	3,420,313	3.35
村井 温	2,954,374	2.89

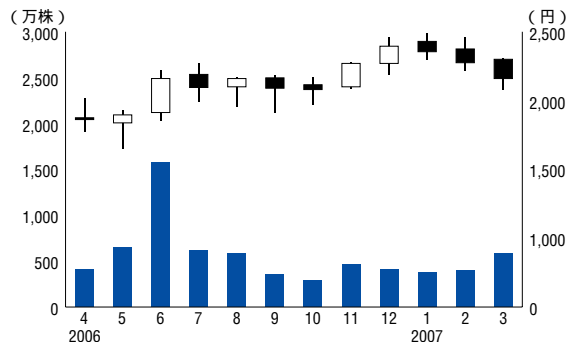
\*1 村井恒夫氏の所有株式は、かまくら商事株式会社名義で所有している株式250万株(2.45%)を含めて表示しております。

\*2 みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口の所有株式は、株式会社みずほ銀行が退職給付信託として拠出したものであります。

所有者別状況(株式数)



株価チャート・出来高推移



社名：総合警備保障株式会社  
(SOHGO SECURITY SERVICES CO., LTD.)  
本社：東京都港区元赤坂1-6-6  
設立：1965年7月16日  
資本金：18,536百万円(2007年3月31日現在)  
代表者：代表取締役社長 村井 温(むらい あつし)  
事業所：本社・5事業本部・58支社・44支店・228営業所  
(2007年6月1日現在)

## 取締役および監査役(2007年6月28日現在)

取締役会長：村井 恒夫  
代表取締役社長：村井 温  
代表取締役：田村 彰  
取締役：佐藤 紘  
取締役：市川 顕  
取締役：益田 兼弘  
取締役：菅野 明  
常勤監査役：大泉 和正  
常勤監査役：中島 英夫  
監査役：陰山 照男  
監査役：飯島 達成

## 執行役員(2007年6月28日現在)

社長：村井 温  
上席常務執行役員：松本 智  
上席常務執行役員：大西 明  
上席常務執行役員：田村 彰  
常務執行役員：佐藤 紘  
常務執行役員：大野 宏  
常務執行役員：澤村 章三  
常務執行役員：萩原 宏樹  
常務執行役員：橋尾 志良  
常務執行役員：市川 顕  
執行役員：本庄 松雄  
執行役員：上野 敬史  
執行役員：寺尾 政志  
執行役員：藤川 隆夫  
執行役員：原 清美  
執行役員：山田 啓  
執行役員：星野 將  
執行役員：谷 藤平  
執行役員：宮澤 裕一